



予習って、どんな効果があるの？

高学年の算数では、前日に予習して授業に臨んでいます。本校で取り組んでいる予習は、必ず問題を解いてくると言うことではなく、解けない時に、どこが解けなかったかを明確にする予習です。

予習のメリットは、予習をすると学習のスタートラインが前日から始まることです。また、分からないなりに予習をすることで、疑問点を明確にして授業に臨むことができることです。

実際に、子どもたちの授業の様子を見ると、一人ひとりの子どもが、ここが分からないのでどうしたら解けるのかと言う問題意識を持って、授業に臨んでいます。だからどのように問題を解くのか、「見通し」を立てる段階では、ペア交流の中で、問題を解くために、いろいろな情報を収集しようとしています。

「予習をすると勉強がわかりやすい。」と言う声も聞かれるようになってきました。他の教科でも、予習が習慣化することで勉強が好きになってくれたらと思います。



復習は、必要なの？

学校で授業受けて、分かったつもりで、テストを受けて出来なかったと言う経験はありませんか。私は、よくありました。では、なぜ、そうなるのでしょうか。それは、「分かること」と「出来ること」は、違うからです。

1時間の授業の中で、どんなに理解していても、それができるようになるためには、練習（復習）しかありません。だから、もう一度、家で宿題（復習）をするのです。

今日授業で習ったことは、家で自分一人で解けるようになって初めて『出来た』って言えるんですね。どんなに授業中に理解しても、繰り返して練習をしないと学習が定着しないということです。「分かった！」を「出来た！」に変換するためにも、復習を大切にしてほしいものです。

もちろん、予習と復習がセットになれば、効果は絶大です。



ひとりごと ～しっかり聞くこととは～

いろいろな行事ある時に、いつも、思うことがあります。それは、子どもたちが、よく人の話を聞いているなあと言うことです。たくさんありますが、一つ紹介します。

7月の海浜学校の出来事です。子どもたちが作ったカレーを食べた時、「なんでこんなにカレーが美味しいのか。」と思いました。帰りに、他の先生にこの話をしたところ、「私もこんなに美味しいカレーは初めて食べました。」と返ってきました。

実は、カレーを作る前に、海の家の方から、調理の仕方と片付け方について長い説明がありました。しかし、子どもたちは、それをしっかりと聞いて実践したのでした。

人の話を聞くには、いろいろな形があると思いますが、子どもたちは、たぶん想像を働かして聞いていたのでしょう。野菜の切り方、微妙な火加減、となりの班が完成しても焦らずにコツコツと作るどころ、とても感心しました。それが、絶妙な味のカレーを完成させたのだと思います。

『しっかり聞く』ということが理解力を高めるために重要であることは明確なことです。『しっかり聞く』ことで、周りに左右されない集中力が育ち、根気よくやりとげる力がついているんだなあと感じました。

